参考 ： 障害者理解促進に向けた東京都の取組

●障害者理解促進特設サイト「ハートシティ東京」

障害者理解に関する情報を発信しています。

https://www.fukushi1.metro.tokyo.lg.jp/tokyoheart/index.html

●「共生社会の理念に賛同する企業・団体」の登録・公表

共生社会の理念に賛同し、障害及び障害者理解への取組等を積極的に行う企業・団体を登録・公表しています。登録企業・団体には、賛意を示すシンボルデザイン「ともりん」のステッカーを配布し、オフィス、店舗等の優先スペースへの掲示等に活用いただいています。



https://www.fukushi1.metro.tokyo.lg.jp/tokyoheart/sandou.html

●デジタル技術を活用した聴覚障害者コミュニケーション支援事業

聴覚障害のある方などが、都庁や都事業所等の窓口で円滑に情報を取得し、意思疎通ができるよう、二次元コードを利用した遠隔手話通訳などの様々な情報保障に関する取組を行っています。



https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/ictdeaf/index.html

●障害及び障害者理解促進のためのゲーム型コンテンツ「探せ！みんなのできること」

障害のある方の困りごとや必要な配慮、様々なコミュニケーション手段について理解を深めるため、オンラインゲームプラットフォーム「Roblox」を活用したゲーム型コンテンツ「探せ！みんなのできること」を提供しています。

https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/shougai/shougai_shisaku/jouhoukomyunikeshon_jourei#anchor01



●ヘルプマーク

障害に関するシンボルマークは、障害者団体が独自に提唱しているもののほかに、都では義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方など外見からは分からなくても援助や配慮を必要としている方々が援助等を得やすくなるよう「ヘルプマーク」を作成し、普及に取り組んでいます。

都営交通、ゆりかもめ及び多摩モノレール等で、ヘルプマークを配布するとともに、優先席にステッカーを標示しています。

平成29年度には、経済産業省において、JISZ8210（案内用図記号）に、「ヘルプマーク」が追加され、全国の自治体で導入が進んでいます。

令和7年度には、JIS 規格に登録され全国共通のマークとなった 7 月20日を「ヘルプマークの日」として定めました。

ヘルプマークを身に着けた方を見かけた場合は、電車内で席を譲る、困っているようであれば声をかける等、思いやりのある行動をお願いします。

https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/shougai/shougai_shisaku/helpmark.html

※ ヘルプマークのデザインについては、著作権は都に帰属するとともに、商標登録をしています。デザインの利用に当たっては、都の許諾が必要となります。

※ ヘルプマークをフリマサイト等で売買することは、御遠慮ください。全国でヘルプマークが導入されており、無償でお受け取りいただけます。（お住まいの地域の自治体にお問い合わせください。）

●ヘルプカード

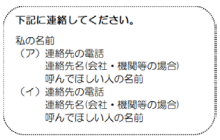
都では、障害者が、災害時や日常生活の中で困ったときに、周囲に理解を求めるための手段として、緊急連絡先や必要な支援内容を記載した「ヘルプカード」の普及促進に取り組んでいます。

ヘルプカードを提示された場合は、記載内容に沿って支援をお願いします。

ヘルプカードを御希望の場合は、お住まいの自治体へお問い合わせください。



表



裏

（東京都福祉局ホームページ）
https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/shougai/shougai_shisaku/card